

## 2021年度 脳損傷による遷延性意識障がい者と家族の会「わかば」活動報告

<https://wakaba-senensei.com/>

(ホームページアドレスが上記の様になりましたのでご留意ください)

家族の会「わかば」でも、2021年度は2020年度に引き続き活動のしにくい1年でしたが、出来る事を模索しながら以下の通りの活動を行いました。

学習会等につきましては5月22日に日本コンチネンス協会認定・排泄専門員の鴨志田真希先生により「より良い生活のための排泄ケア」をZoomで開催しアンケートを拝見しましても大変好評でした。また9月4日には本来2020年に予定しておりました木沢記念病院副院長・中部療護センター長の篠田淳先生により「遷延性意識障害者のアイデンティティについて」という講演会をZoom及びYouTubeで開催し、わかば会員以外の方も含め推定延べ120名程度の方にご参加いただき、これも大変好評でした。更に2022年1月15日には「今、困っている事」をテーマに、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使って話し合い大会を開催し、この日の参加人数は28名といささか少なかったですが、1グループ7名程度×4グループに分かれてフリートークで意見交換を行いました。参加された方のアンケートを拝見しますと、今まで話した事のない方と話げできた等好評でした。

「わかば」では従来は、奇数月の第2水曜日の昼にお茶の水のレストランでランチの会を、各講演会等の後には会場近くの居酒屋で懇親会を開催して会員同士の交流の場を設けておりました。しかしコロナの影響で2020年は1月以外は全く実施できませんでした。2021年はこれを1・5・9月の第2水曜日の昼は各自昼食持参での「ランチの会」を、3・7・11月の第2水曜日の夜は「夜の交流会」と称してアルコールも可とした雑談会をZoomで開催し、通常は15名前後、多い時には25名もの方のご参加があり、その中には新たに入会された方々のご参加もあり、質疑応答もされていました。

会報につきましては、従来は年2回発行しておりましたが、2020年度の行事等の開催が例年の様には出来ませんでしたので、2021年度につきましては1回の発行となってしまいましたが、今年の2月に発送致しました。

また、会運営のために平時は6週間に1回程度開催していましたがわかば役員会会議も、昨年度より役員が一堂に集まる事はやめ、Zoom会議で意見交換をし、上記各行事の準備やその他関連事項等につき討議や情報交換をして運営して参りました。従来は役員会後には「役員会からのお知らせ」と称した各種情報を年8回位、担当役員が印刷・封緘・郵送しておりましたが、これも昨年度は2回、今年度も3回だけになってしまいましたが、従来から会報の発送をお願いしていました福祉作業所に印刷・封緘等をお願いし、発行できました。

昨年度はコロナの影響で殆ど何もできない1年になってしまいましたが、それに比べますと今期は満足とはいかないまでも、試行錯誤しながら昨年よりは色々な活動ができたのではないかと思います。

2022年度につきましては、定期総会議案の議決に関しましては今年も未だオミクロン株の影響で会場開催が難しいと思われまますので、本年度同様に同封の「2021年度活動報告・同決算報告・監査報告、2022年度活動案・同役員会案・同予算案」をお送りし、「2022年度総会議案賛否確認」のハガキを同封し、これへの賛否記入後、事務局に返送いただく形で採決をお願い致します。一方、事業としまして新型コロナウィルス感染状況の今後の推移にもよりますが、5月28日には「重度身体障害者と共に歩む会」理事、看護師の北村叔子先生による「歩む会の成り立ちと今」という講演会を、9月10日には全国会との共催で東京医科歯科大学の戸原玄教授による「摂食・嚥下に関する講演会」を開催する予定です。その他にも未だ具体的なご報告には至っておりませんが学習会や、上述のランチの会等の企画・実施、各種情報の発信・共有等を適宜して参ります。

家族の会「わかば」代表 横山 恒